## 【国内スケートボード利用者数推計と今後の動向】

2017年6月21日(水) NPO法人 日本スケートパーク協会 理事長 河崎

#### <公共スケートパークについて> JSPA による調査

- 公共スケートパーク分布図

#### < スケートボード全国大会参加者推移 2014~2016 > AJSA 公開資料を基に JSPA が集計

- スケートボード全国大会参加者推移(グラフ)
- AJSA 公認プロ大会(年間四戦)参加者集計(表)
- アマチュア選手権大会5地区各三戦参加者集計(表)
- 地域別大会参加者推移(グラフ)
- 地域別アマチュア選手権大会参加者(表)

#### **<日本のスケートボード大会概要 2014~2016>** AJSA 公開資料を基に JSPA が集計

- プロ選手大会 2016 年実績
- アマチュア選手権 2016 年実績
- プロ選手大会 2015 年実績
- アマチュア選手権 2015 年実績
- プロ選手大会 2014 年実績
- アマチュア選手権 2014 年実績

### **<国内スケートボード利用者推計>** JSPA による調査 2009 年~2017 年

- 八王子市戸吹スポーツ公園スケートパーク計画の元となった利用者数の推計データ
- 日本全国の潜在的スケートパーク利用者人数推計
- 日本国内に必要と考えられるスケートパークの数推計
- 2017年現在、もっともスケートパークが必要な地域について

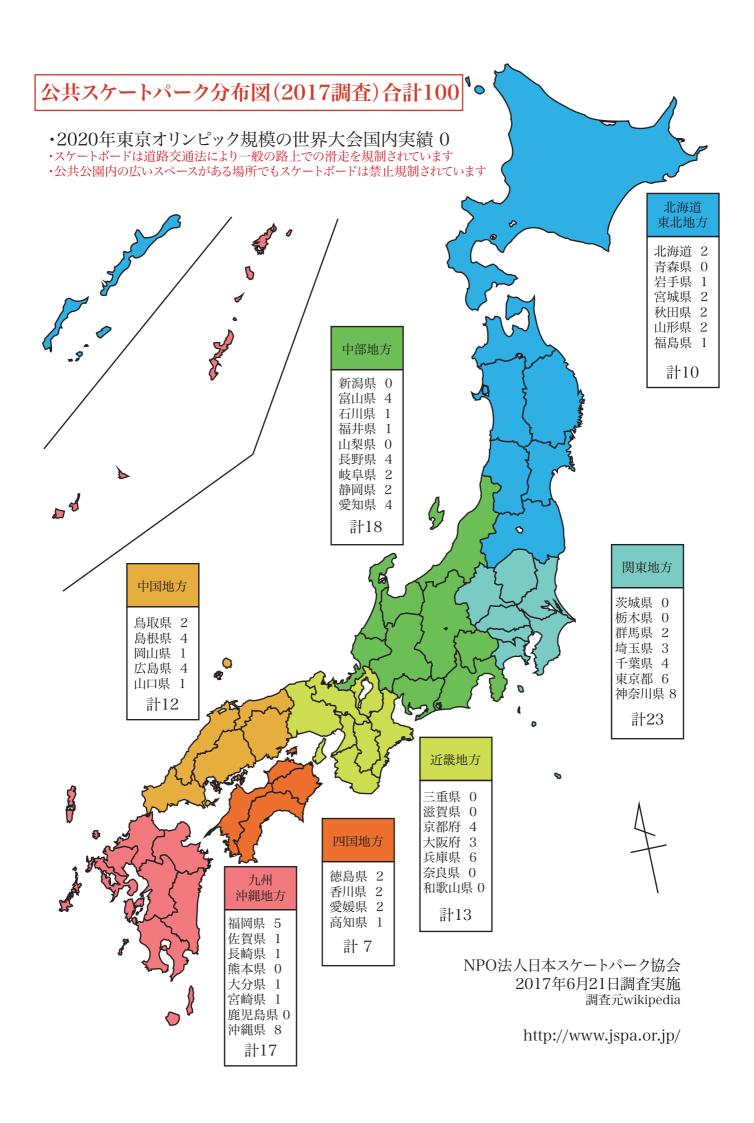
#### **<総括>** JSPA の見解

- 公共スケートパーク今後の動向
- 既設スケートパーク今後の拡張改修動向
- 参考資料(日本の野球場分布図、日本のサッカー場分布図)

# 公共パーク所在地一覧

調査日2017年6月21日 NPO法人 日本スケートパーク協会による全国調査

名称	所在地	名称	所在地
1 北海道立サンピラーパーク	北海道	51 半田スケートパーク	愛知県
2 釧路ストリートスポーツパーク	北海道	52 火打形スケートパーク	京都府
3 盛岡南公園スケートボードパーク	岩手県	53 田辺公園スケートパーク	京都府
4 元気フィールド仙台	宮城県	54 舞鶴市青葉山麓公園スケートパーク	京都府
5 榴岡(つつじがおか)公園	宮城県	55 宮津市浜町スケートパーク	京都府
6 赤坂総合公園スケートパーク	秋田県	56 永楽ゆめの森公園スケートボード広場	大阪府
7 鹿角市総合運動公園スケートパーク	秋田県	57 堺市原池公園スケートボードパーク	大阪府
8 蔵王みはらしの丘スケートパーク	山形県	58 深北緑地公園	大阪府
9 寒河江スケートパーク	山形県	59 北神戸田園スポーツ公園(でんスポ・スケートパーク)	兵庫県
10 十六沼公園スケートパーク	福島県	60 みなとのもり公園	兵庫県
11 安中市米山公園	群馬県	61 姫路スポーツパーク	兵庫県
12 三室西公園スケートパーク	群馬県	62 西宮浜市営パーク	兵庫県
13 妻沼町営スケートパーク	埼玉県	63 三木スケートボードパーク	兵庫県
14 川口市並木元町南公園スケートパーク	埼玉県	64 スポーツピアいちじま	兵庫県
15 AQUA PARK 吉川	埼玉県	65 八東川水辺プラザ河川公園	鳥取県
16 野田スケートボードパーク	千葉県	66 弓ヶ浜公園スケートパーク	鳥取県
17 蓮沼海浜公園ローラースケート場	千葉県	67 太東公園チャレンジ広場	島根県
18 浦安市運動公園スケートボード場(舞浜)	千葉県	68 出雲健康公園スケートボード場	島根県
19 塩浜第二公園スケートパーク	千葉県	69 松江市ニュースポーツ公園多目的広場	島根県
20 戸吹スポーツ公園プラネットパーク	東京都	70 平田リバーサイドプラザ	島根県
21 世田谷公園SL PARK	東京都	71 奈義町スケートパーク	岡山県
22 たちかわ中央公園スケートパーク	東京都	72 東広島市スケートパーク	広島県
23 多摩梨パーク	東京都	73 西部埋立第六公園	広島県
24 東京都立城南島海浜公園スケボー広場	東京都	74 尾道市スケートボード場	広島県
25 西東京いこいの森公園スケートパーク	東京都	75 廿日市青少年多目的広場	広島県
26 横須賀うみかぜ公園	神奈川県	76 防府市スケートパーク	山口県
27 おおね公園スケート場	神奈川県	77 阿南市スケートパーク	徳島県
28 新横浜公園スケボー広場	神奈川県	78 鳴門ウチノ海総合公園	徳島県
29 厚木ぼうさいの丘スケートボード場	神奈川県	79 サンポートスケートパーク(SUSPA)	香川県
30 小山公園ニュースポーツ広場	神奈川県	80 高松グリーンパーク	香川県
31 湘南夢わくわく公園	神奈川県	81 小松町スケートボード場	愛媛県
32 谷本公園	神奈川県	82 西条市東予運動公園スケートパーク	愛媛県
33 鵠沼海浜公園 スケートパーク	神奈川県	83 大方スケートパーク	高知県
34 NIXSニックススポーツアカデミー	富山県	84 ライブ・スケーツ古賀"LIVE SKATES KOGA"	福岡県
35 魚津桃山運動公園	富山県	85 椎田アグリパーク	福岡県
36 桜ヶ池公園スケートパーク	富山県	86 ふれあいの森総合公園 スケートボード場	福岡県
37 東富山スケートパーク	富山県	87 飯塚市スケートボード広場	福岡県
38 金沢市営東金沢スポーツ広場	石川県	88 城島町勤労者体育センター	福岡県
39 福井桜橋総合公園	福井県	89 伊万里スケートパーク	佐賀県
40 茅野スケートボードパーク	長野県	90 長崎小江スケートパーク	長崎県
41 大町グリーンパーク(GREEN PARK)	長野県	91 大原公園スケートボード場	大分県
42 松本市総合体育館スケートパーク	長野県	92 祇園スポーツパーク	宮崎県
43 森と水のアウトドア体験広場	長野県	93 宜野湾スケートパーク	沖縄県
44 中津川公園スケートパーク	岐阜県	94 天久スケートパーク	沖縄県
45 宮川緑地公園	岐阜県	95 砂辺馬場スケートパーク	沖縄県
46 藤枝総合運動公園	静岡県	96 石川公園スケートパーク	沖縄県
47 清水マリンパーク	静岡県	97 美里公園スケートパーク	沖縄県
48 若宮公園スケートパーク	愛知県	98 白川街区公園スケート広場	沖縄県
49 豊橋総合スポーツ公園	愛知県	99 花・水・緑の大回廊公園(南風原スケートパーク)	沖縄県
50 スケートパーク川西	愛知県	100 豊崎近隣公園	沖縄県





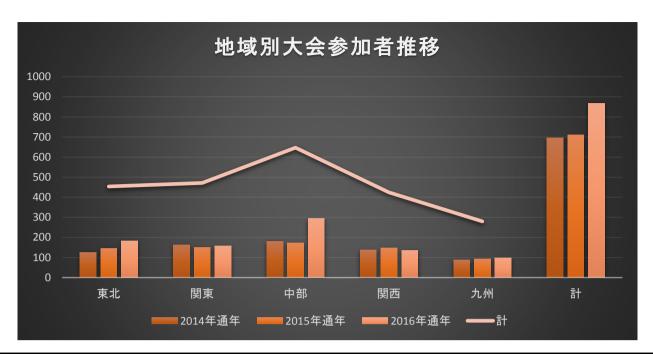
大会参加者推移	2014年	2015年	2016年	
プロ参加者	165	92	142	
アマチュア参加者	696	711	869	

# AJSA認定プロ大会 (年間四戦)

	2014年	2015年	2016年
第一戦	46	47	23
第二戦	66	23	58
第三戦	26	0	21
第四戦	27	22	40
プロ参加者合計	165	92	142

# アマチュア選手権大会5地区三戦

		2014年		2015年		2016年	
第一戦(春)	東北	46	257	46	285	67	352
	関東	46		58		82	
	中部	79		89		105	
	関西	46		54		57	
	九州沖縄	40		38		41	
	東北	47	253	42	222	55	322
第二戦(夏)	関東	60		65		76	
	中部	62		35		118	
	関西	53		46		44	
	九州沖縄	31		34		29	
第三戦(秋)	東北	33	186	57	204	61	195
	関東	56		28		0	
	中部	40		48		71	
	関西	40		49		35	
	九州沖縄	17		22		28	
アマ参	加者合計		696		711		869



地域別アマチュア選手権大会参加者	東北	関東	中部	関西	九州	計
2014年通年	126	162	181	139	88	696
2015年通年	145	151	172	149	94	711
2016年通年	183	158	294	136	98	869
計	454	471	647	424	280	

# 【日本のスケートボード大会概要 2014~2016】

2017 年 6 月 20 日 (火) NPO 法人 日本スケートパーク協会 理事長 河崎

## <一般社団法人日本スケートボード協会による大会実績>

## 「プロ選手大会 2016 年実績」

### 第一戦 アドバンスカップ 期間: 4月土日2日間

- 開催地: AXIS 茨城県つくば市大舟戸 191-91 (民営)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:46名
- 賞金総額:150万円
- 参加費:無料

### 第二戦 ASIAN OPEN 期間: 6月11日

- 開催地:大韓民国ソウル東大門カルトパーク(公共)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:66名
- 賞金総額:4,000,000KRW(約37万円)
- 参加費:3,000円

### 第三戦 GUNZE BODY WILD CUP 期間: 8月21日

- 開催地: THE UNION PARK 千葉県市川市鬼高 3-32-12 (民間)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:26名
- 賞金総額:32万円
- 参加費:5,000円

#### **第四戦** ムラサキカップ 期間: 10月2日

- 開催地: THE UNION PARK 千葉県市川市鬼高 3-32-12 (民間)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:27名
- 賞金総額:32万円
- 参加費:5,000円

### 「アマチュア選手権 2016 年実績」

### 東北サーキット

第一戦 5月15日 盛岡南公園スケートパーク (公共) 参加者67名

第二戦 7月10日 Onepark 宮城県石巻市魚町1-2-10 (民間) 参加者55名

第三戦 9月11日 山形寒河江スケートパーク (公共) 参加者 61名

### 関東サーキット

第一戦 4月24日 横須賀うみかぜ公園(公共) 参加者82名

第二戦 7月3日 UNION PARK 千葉県市川市鬼高 3-32-12 (民間) 参加者 76名

第三戦 不成立

### 中部サーキット

第一戦 5 月 15 日 豊橋総合スポーツ公園 (公共) 参加者 105 名

第二戦 7月10日 CloverR 岐阜県郡上市大和町剣 258-1 (民間) 参加者 118名

第三戦 9 月 11 日 T-style 静岡県御前崎市塩原新田 895-1 (民間) 参加者 71 名

### 関西サーキット

第一戦5月15日 北神戸田園スポーツ公園(公共) 参加者57名

第二戦7月3日 京都火打形スケートパーク(公共) 参加者44名

第三戦9月4日 大阪永楽ゆめの森公園スケートボード場(公共) 参加者35名

### 九州沖縄サーキット

第一戦4月10日 大分大原公園スケートボード場(公共) 参加者41名

第二戦 7 月 10 日 福岡 SWITCH 福岡県大川市北古賀 220-2 (民間) 参加者 29 名

第三戦9月11日 沖縄花水緑の大回廊公園 SK8PK (公共) 参加者28名

### 「プロ選手大会 2015 年実績」

### 第一戦 ASIAN OPEN 期間: 6月6日

- 開催地:大韓民国ソウル市内(公共)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:47名
- 賞金総額:3,900,000KRW(約36万円)
- 参加費:不明/無料

#### 第二戦 ワンメイクスタイル in YOKOHAMA 期間:8月19日

- 開催地:インタースタイル特設会場(民間)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:23名
- 賞金総額: 32万円
- 参加費:5,000円

### 第三戦 不成立

- 開催地:
- 開催スパン:
- 参加者:
- 賞金総額:
- 参加費:

### **第四戦 ムラサキカップ** 期間: 10月18日

- 開催地:ムラサキパーク東京都足立区千住関屋町 19-1 (民間)
- 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)
- 参加者:22名
- 賞金総額:32万円
- 参加費:5,000円

### 「アマチュア選手権 2015 年実績」

### 東北サーキット

第一戦 5月10日 Onepark 宮城県石巻市魚町1-2-10 (民間) 参加者46名

第二戦 7月20日 山形寒河江スケートパーク (公共) 参加者42名

第三戦 9月13日 チャンネルスクエア福島市南矢野目字夜梨4-1 (民間) 参加者57名

### 関東サーキット

第一戦 4月19日 横須賀うみかぜ公園(公共) 参加者58名

第二戦 6月14日 千葉県市川市塩浜第二公園スケートパーク (公共) 参加者65名

第三戦 9月13日 MOSSY'S 山梨県中巨摩郡昭和町押越104-1(民間) 参加者28名

### 中部サーキット

第一戦5月10日 豊橋総合スポーツ公園(公共) 参加者89名

第二戦7月12日 中津川公園スケートパーク(公共) 参加者35名

第三戦9月13日 福井桜橋総合公園(公共) 参加者48名

### 関西サーキット

第一戦5月10日 北神戸田園スポーツ公園(公共) 参加者54名

**第二戦**6月14日 京都火打形スケートパーク(公共) 参加者46名

第三戦9月13日 北神戸田園スポーツ公園(公共) 参加者49名

#### 九州沖縄サーキット

第一戦 5 月 10 日 大分大原公園スケートボード場(公共) 参加者 38 名

**第二戦**7月12日 福岡 SWITCH 福岡県大川市北古賀220-2(民間) 参加者34名

第三戦9月11日 沖縄花水緑の大回廊公園 SK8PK (公共) 参加者22名

### 「プロ選手大会 2014 年実績」

### 第一戦 関西オープン選手権 期間: 5月17~18日

● 開催地:北神戸田園スポーツ公園(公共)

● 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)

● 参加者:23名

● 賞金総額:15万円

● 参加費:5,000円

### **第二戦 ASIAN OPEN** 期間: 7月4~5日

● 開催地: C. RUZA 大韓民国では子 マ こっぱっぱい (民間)

● 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)

● 参加者:58名

● 賞金総額: 5,600,000KRW(約51万円)

● 参加費:不明/無料

### 第三戦 ワンメイクスタイル in YOKOHAMA 期間:9月3日

● 開催地:インタースタイル特設会場(民間)

● 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)

● 参加者:21名

● 賞金総額: 32万円

● 参加費:5,000円

### 第四戦 ムラサキカップ 期間: 10月18~19日

● 開催地:ムラサキパーク東京都足立区千住関屋町 19-1 (民間)

● 開催スパン:毎年1回(開催場所は不定)

● 参加者:40名

● 賞金総額:50万円

● 参加費:2,000~5,000円

### 「アマチュア選手権 2014 年実績」

### 東北サーキット

第一戦 5月11日 AP 米沢 山形県米沢市上新田 2328-9 (民間) 参加者 46名

第二戦 7月13日 Onepark 宮城県石巻市魚町1-2-10 (民間) 参加者47名

第三戦 9月7日 山形寒河江スケートパーク (公共) 参加者 33名

### 関東サーキット

第一戦 4月20日 横須賀うみかぜ公園(公共) 参加者46名

第二戦 6月29日 X-DOME 海老名神奈川県海老名市門沢橋 2-7-29 (民間)参加者60名

第三戦 9月21日 千葉県市川市塩浜第二公園スケートパーク (公共) 参加者56名

### 中部サーキット

第一戦 5 月 11 日 豊橋総合スポーツ公園 (公共) 参加者 79 名

第二戦9月28日 福井桜橋総合公園(公共) 参加者62名 \*順延のため日程前後

第三戦9月7日 中津川公園スケートパーク (公共) 参加者40名

### 関西サーキット

第一戦5月18日 北神戸田園スポーツ公園(公共) 参加者46名

第二戦6月29日 大阪深北緑地公園(公共) 参加者53名

**第三戦**9月29日 京都火打形スケートパーク (公共) 参加者40名

#### 九州沖縄サーキット

第一戦5月11日 長崎小江スケートボード場(公共) 参加者40名

**第二戦**7月13日 福岡 SWITCH 福岡県大川市北古賀220-2(民間) 参加者31名

第三戦9月7日 古賀市スケートパーク/ライブスケーツ古賀(公共) 参加者17名

**<国内スケートボード利用者推計>** JSPA による調査 2009 年~2017 年

● 八王子市戸吹スポーツ公園スケートパーク計画の元となった利用者数の推計データ

2009 年、八王子市役所スポーツ振興課より八王子スケートボード協会に、スケートパークを設置した場合の推計利用人数の問い合わせがあったため、無記名自由意志にて潜在的利用者の集計をおこないました。合計 5,137 名の八王子市民および近隣の皆様から利用したい旨の署名が集まりました。2009 年(平成 21 年)当時の八王子市総人口は 551,901 人であることから、地域人口の約 0.93%が利用したいと考えていることが分かりました。

● 日本全国の潜在的スケートパーク利用者人数推計

2017年6月1日現在の日本の総人口は1億2674万人ですから、スケートパークを利用したいと考えている潜在的利用人数は、およそ117万人以上と考えられます。

● 日本国内に必要と考えられるスケートパークの数推計

スケートボードやスケートパークを利用するエクストリームスポーツ用具の利用は、国内では道路交通法により一般道路の利用は規制されています。また、大きな公園内であっても、スケートボード禁止として規制対象とされている場合が少なく有りません。では、いったいどれくらいの規模と数のスケートパークが必要なのでしょうか? 八王子市戸吹スポーツ公園スケートパークの設計は、潜在的利用者 5,000 人を想定して約4,400 平米+入り口の外の観覧場所を含め約5,000 平米をスケートパークのために利用する設計をいたしました。ひとつのスケートパークに対して潜在的利用者 1 名に対しおおむね1 平米と考え計算しております。国内のスケートパークとしては、GOOD DESIGN AWARD 2011 を受賞した初めてのスケートパークとなりました。オープンから6年がたった今も、予想をはるかに超える遠方からの利用者が後を絶ちません。

しかし、先に示したとおり、現在日本には 100 件の公共スケートパークしかありません。 潜在的利用人数は 117 万人いるわけですから、最低でも 5,000 平米のスケートパークが 234 件は必要だと考えられます。この数字が「日本にはスケートパークが少ない」と言わ れている根拠です。

● 2017年現在、もっともスケートパークが必要な地域について

地域別大会参加者推移のグラフをご覧頂くと、中部地区の大会参加者人口が非常に多いことが分かります。今もっともスケートパークが必要な地域は中部地域です。

#### **<総括>** JSPA の見解

● 公共スケートパーク今後の動向

2020 年東京オリンピックにおいて、新しく競技採用されたスケートボードですが、日本国内にはストリート競技やパーク競技の練習をする場所が圧倒的に少ないです。

民間スケートパークは維持管理経費もかかるため、それだけで運営を続けてゆくことが難しく、今後は利用者が求めるフルコンクリートセクションの公共スケートパークがある場所に人が集まると考えられます。また、女子の利用者人口も高いため、更衣室やシャワールームなどが併設されていると多くの利用者が集まると考えられます。

#### ● 既設スケートパーク今後の拡張改修動向

現在日本国内にある 100 件のスケートパークの中には、設置から 10 年以上が経過し、海外から輸入してきた置物セクションの老朽化が見受けられます。このような置物のセクションは移動や撤去が出来るというメリットがある反面、維持管理補修費がかさむことがデメリットとなります。

買ってきて置いただけのセクションは、老朽化によるメンテナンス費用や維持管理コストがかかるため、傷んでいても放置され利用されなくなってしまうスケートパークが少なく有りません。

2009 年から 2017 年までの間ヒアリングしてきた JSPA の調査によると、賃貸物件の中に民間が作るスケートパークでは置物の輸入セクションや木製のオリジナルセクションが造られる場合が多いですが、公共スケートパークを求める利用者の 100%が、コンクリートで形成された路面と起伏のあるセクションをコンクリート等で造形されたスケートパークを求めていることから、既設のスケートパークにおいても改修拡張工事の際は、維持管理コストの面でも一度造ったらほとんど補修費のかからないフルコンクリートスケートパーク(路面およびセクションをコンクリート・タイル・レンガなどの屋外耐候性の高い素材で造形されたスケートパーク)への拡張改修工事が求められており、今後の主流となります。

